

徳の真玉

学校教育目標：命・人権を大切にし、豊かな心を持ち、
学ぶ力を身につけた、たくましい子どもの育成
ホームページ<http://hhigashi@town.aisho.lg.jp>

R3. 12. 23 発行
秦荘東小学校
発行責任者
校長 今村 増弘

「自主学習チャレンジウィーク」の取組、ありがとうございました。

メディアに接する時間を減らした分、家庭学習に取り組む時間を増やし、家庭学習の習慣化を図ろうと取り組んでいただいた「自主学習チャレンジウィーク」の取組ですが、どの学年も好結果とともに、取組により達成感や学習への自信が得られたとの報告を、学級通信や学年通信等を通じて目にさせていただいたことと思います。また、PTA生活部からも取組の成果を報告いただきました。今後も続けていきたいとの声も多数いただき、ありがたく感じている次第です。地道な取組ではありますが、先般の保護者アンケートの結果からも明らかになったように、読書の質・量ともにプラスに転じていることが認められました。「減メディア・親読書」の取組が少しずつ根をはりつつあるように思います。この冬休みも、「減メディア・親読書」の取組を心がけていただき、ご家族で読書に親しんでいただければと願っています。

子どもたちの日常を取り戻す

11月の滋賀県内の新型コロナウイルス感染症患者の発生人数は24人でした。12月は22日までで28人でした。このように新規感染者数が減っているので安心ですと言うつもりは全くありません。インフルエンザの流行期にも入っているため、合わせての予防が必要です。ただ、安倍前総理が緊急事態宣言を出されてから、学校でも全校児童が一堂に会して集会等を開いていません。1年生・2年生の児童は、終業式などで体育館に全校が集まって式をすることを経験していません。運動場での避難訓練は経験していますが、いわゆる式というものは経験していません。秦荘東小学校の全校児童数は現在280名です。縦29.3m×横23.6mの広さがある体育館ですから、全校6学年2学級の12学級が縦に並ぶと、1学級の人数が最大でも26人なので、前後に1m以上、左右には約2m近くの間隔を確保して整列することができます。教室内よりもはるかに疎の状態が確保できることから、終業式を体育館で実施することにしました。



下学年と上学年の2つに分けて行った校内音楽会のときも、しっかりとマスクをして無駄話をしないで学習できたことを思うと、これまでの学校での子どもたちの日常を取り戻す方策を探っていくことも、感染症対策と同様に大切だと考えます。正しく恐れ、状況に応じて柔軟に対応し、学校の日常を取り戻していくことを、今しっかりと考えなければならないと思っています。もちろん、感染状況を考えて、リモートでの終業式に切り替えることも念頭に入れて考えているところです。

本年も、大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

コロナ禍で迎える2度目の年末年始となりました。しかし、昨年とは違って、インフルエンザは手洗い・うがい・マスクの着用などの予防でほぼ防げることが実証されました。また、コロナへの感染も抑えることができました。昨年は集まることを控えておられた家族や親戚の方も、今年は集まって、新年をお祝いされることと思います。現在の状況からさらなる感染の抑え込みができ、3学期も危惧することなく始められますよう、感染予防の徹底をよろしくお願いいたします。

最も大切にしていきたいのは、早寝・早起き・朝ご飯の基本的な生活リズムを崩さないことです。生活リズムが整っていれば、体調を崩すことはないと思います。基本的な生活リズムを守って、年末年始の大切な時間を過ごしてほしいと願っています。どうぞ、ご家族・ご親戚でよいお年をお迎えください。第3学期は、1月7日（金）のスタートとなります。ちょうど2週間です。子どもたちの健康と安全をよろしくお願いいたします。

